

地域復興支援

相双移住100人計画会議が
さらにパワーアップ！

昨年度から発足した「相双移住100人計画会議」では、相双地域に移住者を呼び込むことを目的に、行政・民間・大学が広域に連携し、月に一度の定例会を行っています。

今年度は参加自治体も増え、更に広域での情報交換や協力し合える体制が整ってきました！現在は関係人口増加につながる具体的なイベント開催をメンバーで模索中です。

本会議は【相双つながる×関係人口】を略して「TUNAKAN（ツナカン）」と呼ばれています。TUNAKANの今後の活動にご期待ください！



産業振興支援

4月より新しく2名が着任しました

今年度より、従来の支援に加え地域産業の振興を支援する活動部門が設置されました。

震災等により地域経済を支えていた産業が急速に衰退し、人口減少の影響も加わって回復しきれない状態がありますが、単に震災前に戻るだけではなく、産業の構造的な課題を解消し、創造的な復興が必要であるとの指摘もあります。

そのような状況のなかで、福島イノベーション・コースト構想が着々と進められており「廃炉・除染」「環境・リサイクル」「農林水産」「ロボット」「エネルギー」「教育・人材育成」など多くの分野で新たな産業基盤が構築され、既に一部は歩み始めています。

地域の皆さんと共に復興の道を歩んでいけるよう、このプロジェクトだけに限らず、いろいろな活動を通して産業の振興を全力でサポートしていきたいと考えています。

福島大学の学生が
「葛尾マップ」を制作

葛尾村は大部分の避難指示解除から約2年が経ち、復興に向かって新施設の整備や商店の再開、新規イベントの開催など新しい変化が村内各所で見られます。そんな再生葛尾を広く知ってもらうために福島大学美術科の学生ら5名がマップを制作しました。2月に取材のため来村し、5カ月にわたる制作を経て完成させました。学生たちは取材で出会った村の人々のあたたかさが伝わるよう手書きで仕上げました。

機会がありましたら、ぜひお手にとってご覧ください！



教育環境の整備

多彩なワークショップの
ラインナップ！

いまの子どもたちに何が必要なのか双葉8町村の学校の要望を丁寧に聴き取り、さまざまなワークショップを企画してきました。

出色なのは何といてもプログラミング。ハンダ付けから基板を作りBASICを体験したり、あるいは課題解決型レゴロボ体験をしたり。

心と身体の解放をテーマにしたコンテンポラリーダンス入門では、思春期の恥ずかしがりの子どもたちが自ら振り付けをし、皆で力を合わせてダンス作品を完成させるまでを体験。

どんな成長があったか、ですって？それは、子どもたちの笑顔がすべて！今年度は、より多彩なメニューでご期待に応えられるよう準備中です。乞うご期待！

<今年度予定のワークショップ>（一部）

- ◆時計組立教室
- ◆BASICプログラミング
- ◆レゴロボ（プログラミング）
- ◆環境エネルギー教室
- ◆身体表現ワークショップ
- ◆主体的に楽しむ「体づくり運動」
- <その他>
- ◆こども園の体力向上を図るカリキュラム作りのアドバイス…etc.

サテライト職員・西 康一の
農業応援記

第1回 榑葉町・永山 広男さんを訪ねて

こんにちは！榑葉サテライトで活動をしている西です。このコーナーでは毎回、農業でがんばっている人・団体、情報等を紹介します。

今回は榑葉サテライトのすぐ近くで稲作を営む永山 広男さん。湛水（たんすい）直播に震災前から取り組まれている第一人者です。

湛水直播とは、苗を植えるのではなく、直接田んぼに種をまいていく田植え方法。この方法で育苗、運搬、苗つぎの重労働が省力化できます！これから主流になっていく方法ではないでしょうか。秋が楽しみです！



▲西の突然の訪問にも快く受け入れてくださいました！

次号 第19号は9月頃発行予定です。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 相双地域支援サテライト

<http://ifs.fure.fukushima-u.ac.jp/>



相双地域支援サテライト ニュースレター

相双の風

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

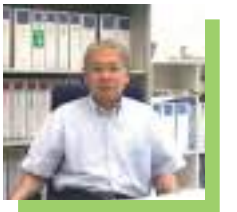
●発行
福島大学FURE相双地域支援サテライト
[福島大学 企画・連携担当]
福島市金谷川1
TEL:024-504-2834
FAX:024-504-2865

[榑葉本所]
双葉郡榑葉町下小嶋麦入31
(榑葉まなび館内)
[川内分室]
双葉郡川内村上川内早渡11-24
[南相馬分室]
南相馬市原町区旭町1-8
(みなみそうま復興大学内)

相双地域支援サテライトは福島大学の現地拠点として被災地域の復興をご支援する活動を行ってまいりました。

平成28年3月より、相双地域各市町村の状況やサテライトの活動を掲載した「サテライト新聞」を発行してまいりましたが、この度構成等を一新し、「相双の風」としてお届けすることといたしました。引き続きご愛読くださるようお願い申し上げます。

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライト長 仲井 康通



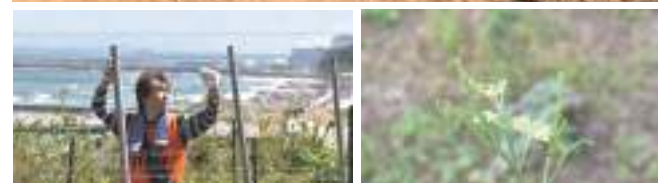
富岡町 ワイン葡萄栽培に寄せる期待

ワイン用ブドウの栽培で
復興、そして地域の魅力を創出！

2016年春、富岡町の町内有志は「とみおかワイン葡萄栽培クラブ」を設立し、町内2カ所（小浜、下千里）の圃場でワイン用ブドウの試験栽培を開始しました。これは醸造用のブドウ栽培を通して福島県の復興を成し遂げ、ワイン造りを通じ地域の魅力創出を目指す「ふくしまワインベルト構想」の一翼を担うものです。一般社団法人日本葡萄酒革連協会の協力を受け、川内村と連携して取り組みを進めています。当初は富岡町の避難指示が解除されておらず、各自が避難先から通いながら作業にあたりました。小浜圃場はこれまで段階的に広げておりこの3月にも新しく330本の苗木を植え付けし、現在では2カ所合わせて約1000本の苗木が植えられています。

また5月19日(土)には、東京からDTSグループの社員46名が社会貢献活動の一環として小浜圃場を訪れ、栽培クラブの会員とともに、ワイヤー張りの補助や除草作業に汗を流しました。

今年度は会員も28名に増え、苗の管理委託や栽培技術の委託などの体制も整え、事業化に向けた準備を進めています。試験栽培も今年で3年目の正念場。富岡で栽培されたブドウを使ったワインの醸造へ、夢と期待が膨らみます。



▲小浜圃場を訪れた東京のIT企業、DTSグループ社員のみなさま

榑葉町に5月よりオープン
農家レストラン"げんき庵"

朝、自宅の畑で採れた野菜を中心に決めるお任せメニューでもてなす、アットホームな農家レストラン。「頑張って生きようとしている人たちのため、心のケアができる場所にしたい」と語る店主の山内富子さんが腕をふるう。ランチは日替わり1,000円。

- ◆住 所 : 榑葉町大字北田字新田東57
- ◆電話番号: 090-3128-8986
- ◆営業時間: 11:00~16:00
- ◆定休日 : 日・月曜日



ブルーベリーの食前酒がヘルシー▶

4月より再オープン！
富岡町図書館

双葉郡に住所がある方、富岡町内に通勤・通学している方は利用カードが作れます。

- ◆住 所 : 富岡町大字本岡字王塚622-1
- ◆電話番号: 0240-21-3665
- ◆開館時間: 10:00~17:00
- ◆休館日 : 月曜日、祝日、月末図書整理日、特別整理期間、年末年始

くわしくはホームページをご確認ください。

◆URL : <http://www.manamori.jp/>

特集

双葉郡 8 町村を PR する動画が ついに完成！

福島大学FURE相双地域支援サテライトでは、被災地の中堅職員が広域で集まる「ふたばの明日を考える会」と協力して復興体験・研修プログラム「そうそうリボンツアー」を実施しています。県外から来たツアー参加者から「効果的な広報が必要ではないか」との意見が多く寄せられたことが、この動画をつくるきっかけでした。

そこで首都圏のクリエイターの卵たちと地域のプレーヤーが協力し、双葉郡をPRする動画制作が始まりました。今回の動画制作を通じて、双葉郡内外の人の良質な「きずな」をつくること、若手・中堅を中心とした双葉郡としての一体感を醸成すること、2つの目的を達成できたように感じます。

ふたばの明日を考える会事務局 相双地域支援サテライト 島崎 延雄

震災から7年が経過した今、双葉郡の復興に向けて
8町村がともに頑張る姿勢を、ゆるキャラたちが伝えています



東日本大震災から、今年で7年



いま、わたしたちに来ることってなんだろう



結えるべき絆は、まだまだある。



ゼロから立ち上がる、新しい双葉郡を信じて。

この動画を、双葉郡の人々が語りあい、更に輪を広げていく一つの布石に

えっ！？自分でいいの？と思いながらも、何か役に立てれば…の一心でナレーションを担当させていただきました。いただいた原文を少し手直ししましたが、その中で特に思いを込めて付け加えたのが「ゼロから立ち上がる新しい双葉郡」という一節です。

とても険しい道程の中で、前に進む人々を鼓舞する、そういうイメージでした。こうして8町村が一緒に作った一つの作品をみて、双葉郡の人々が語りあい、更に輪を広げていく、一つの布石となってもらえたら最高ですね。

双葉郡未来会議代表 平山 勉さん



完成した動画はこちらからご覧ください▼

① パソコンからアクセス！ ② スマートフォンから

<https://goo.gl/H9kVQp>

右のQRコードを読み取ってアクセス！



大熊町 まずは興味を持ってもらえたら

双葉郡の復興には、この地域を知ってもらうこと、興味を持ってもらうことが重要だと感じていたとき、このゆるキャラを使った双葉郡PR動画の話をもらいました。それぞれ小さな町村が個別に情報発信をしても人の目にとまることが少ない、また自治体職員が顔出しでPRするとどうしても堅い印象を与えてしまう…この動画企画はその点をクリアできるのではないかと考え、参加しました。当日は風が強く、まあちゃんは何度も顔を飛ばされそうになっていましたが、仲間のゆるキャラたちの助けもあり、やりきることができていました。「この地域にはこんなことをする自治体職員がいるんだ！」そう思っていただけで、まずはいいと私は考えています。双葉郡の抱える課題やふるさtoに対する私たちの思いに共感していただくためには、まずは興味を持っていただくことがスタートですから。



双葉町 8 町村の元気な姿を感じて

双葉ダルマさんは、いわゆる「ゆるキャラ」ではありません。双葉町ダルマ市をPRするために日々活動しています。見た目のインパクトが決して可愛いとは言えないとダルマさん本人も自覚されているようです。そのような中、近隣町村の可愛らしいキャラクターたちと双葉郡をPRすることに若干の違和感と申し訳ない気持ちがありましたが、完成した動画を見て、各町の個性が出た素晴らしい仕上がりに感動しました。ダルマさん本人は当日の撮影について「動きと表情が制限される中、自分なりにベストな演技ができた」と語っていました。この動画をご覧いただいた方に、双葉郡8町村の元気な姿を少しでも感じていただけたら幸いです。

川内村 間違ったイメージを変えて！

8体!?揃うと「負けられない！」というライバル心と「皆と一緒に頑張れる」という心強さを感じました。白熱の議論、目一杯アピールしました。モリタロウだからこそ、伝えられることもある！

見た方にはとにかく笑顔になって、間違ったイメージを変えて欲しいな。泣いてばかりじゃないんだぜ！双葉郡は発想と実行力でセカンドギアに入ってます。やるっきゃない！梅雨時、川内村の平伏沼にはモリタロウの仲間モリアオガエルが木の枝に産卵しています。皆さん見においでください。



葛尾村 ゆるキャラたちのおしゃべり姿は必見！

村のイメージキャラクターである「しみちゃん」は、凍みもちといちごが大好きな女の子。撮影当日は風が強く、椅子が倒れたり名札が飛ばされたりと、なかなか大変そうでしたが、本人的にはたくさんのお友だちとお話ができてとても満足げな様子。「みんなでおしゃべりたのしかったしみ～（本人談）」しみちゃんのかわいらしさと福島を愛する熱意が皆様に伝わればうれしいです。今回の動画ではゆるキャラたちの声は収録されず身振り手振りのみで議論しているシーンを撮影しています。うまく「おしゃべり」している様子が伝わるか不安でしたが、心配は無用でした。ゆるキャラたちのおしゃべり姿、是非堪能してください。震災から7年が経過した今でも、福島はまだまだ復興に向かって頑張っています。この動画を通して双葉郡を知ってもらい、「双葉郡ってどんなところだろう？」と、少しでも多くの人が興味を持ってくだされば幸いです。



担当者が
PR動画に込めた想い
撮影秘話

楡葉町 シガラミを気にせず本気で対話を

どこの田舎も例外なく、昔ながらの土地には歴史があります。そして、政治や色々なシガラミもあります。大人の世界ではそのシガラミを気にして表面上で上手く繕っているかもしれません。今、この地域では出演しているキャラクターたちや若い世代がシガラミを気にせず本気で対話を始めています。おしゃべりから何かを見つけよう、感じようとしています。それが原子力被災地と呼ばれるこの地区の復興のため、これからの地域を残すための一番の財産です。今回、企画や編集のタイミングから関わることができ、非常に良かったと思っています。双葉8町村と、支援に来ている方々と、みんなで創れたことが良かったです。おしゃべりから、未来を探していきましょう。

広野町 暴風の中での撮影！

撮影当日は台風並みの暴風！風にあおられて転びそうになったり、8町村のキャラクター会議の最中も顔を吹き飛ばされそうになって、後ろから必死に支えてもらいました。だからあまり動けなかったけれど、ひろぼーは、いつもはとっても元気なトンボの男の子です。頭の飛行帽は広野町のみかん、メガネには青い空が映っていて、首のマフラーは浅見川の大滝のイメージです。素敵でしょう？「動画を観て、みんなが会いにに来てくれるといいなー。」背中の羽をパタパタさせて、ひろぼーは待っています。

浪江町 メッセージ性の強い動画

撮影日当日は大変な強風で、色々なものが飛ばされていく中、「うけどん」は飛ばされないうち必死だったことをよく覚えています。完成した動画はそのような天候を一切感じさせず、ゆるキャラと背景との対比が印象的なメッセージ性の強いものとなりました。私は昨年4月より町内に住んでいます、避難指示解除から約1年が経過し徐々に町中の明かりも日々増えているように感じます。一方、今回の動画の場面のように、かつての賑わいには程遠い現状も見取れます。この動画を見た人が、双葉郡の今について少しでも思いを巡らせ、誰かと「おしゃべり」するきっかけになれば幸いです。



(一社) ならは みらい 8 町村みんなでみらいを考えたい

アイドルにとって一番重要なこと。それは、気持ち。「私(ゆず太郎)が主役!!」と言い聞かせ、日頃から応援してくださっているのファンの皆さんへの愛を全力で表現したつもりです。さて、どんな完成になっているかな？と見てみると「…んっ？！なんかみんなすごい…。」とみっぴーいいケツだな！しみちゃん頭でかいけどなんか応援したくなる！！昔からこいつにだけは負けるはずがないと思ってたゆりかちゃん、圧倒的な存在感！私もまだまだだなあ…なんて思いました。今回の動画撮影を通じて、仲間でありライバルである他の町村の皆さんと一緒にこの地域のみらいを考えていきたいと改めて感じました。

富岡町 ゆるキャラより

心の声を感じて欲しいっぴー！

大倉山で生まれたセキレイの妖精、とみっぴーだっぴー!! 富岡町のみんなと遊ぶのが大好きで、ふだんは富岡町の中で遊ぶことが多いけど、動画の撮影のときは浪江町や楡葉町にも行ってきただっぴー！とにかく風の強い日で、吹き飛ばされるかと思ったっぴー！ひろぼー、ゆず太郎、ゆりかちゃん、まあちゃん、双葉ダルマさん、うけどん、しみちゃん、モリタロウ村長、会議では大い盛り上がり、時々顔を抱えてしまったけど、未来の為に語り合えて良かった。また会っておしゃべりしたいっぴー！日本全国の皆さんに、会議の様子を動画を見て、心の声を感じて欲しいっぴー！ラジオ福島さんのホームページからも動画に入れるので、感謝してるっぴー！

ふたばぐるぐるMAP 第3弾発行！

同じく相双地域支援サテライトが「ふたばの明日を考える会」と協力し誕生した「ふたばぐるぐるMAP」の第3弾を発行しました。双葉郡出身者はもちろんのこと、初めて双葉郡を訪れる方にとっても、道路情報など役に立つ情報がいっぱい！コンビニや自治体のロビー等で入手できます。

